

G7首脳慰霊碑献花



発行所
広島市中区土橋町7番1号
〒730-8677
中国新聞社
電話(082)236-2111(受付案内台)
中国新聞デジタル
<https://www.chugoku-np.co.jp/>

号外

中国新聞の
購読と試し読み
申し込み
0120-492-506

原爆慰霊碑に献花したG7の首脳たち 19日午後0時5分、広島市中区(撮影・浜岡学)



広島サミット開幕

平和記念公園に向かう岸田首相を乗せた車の列 19日午前10時17分、広島市中区(撮影・山田尚弘)



先進7カ国首脳会議(G7サミット)が19日、広島市で開幕した。核兵器を持つ米英仏を含む参加国と欧州連合(EU)の首脳がそろって平和記念公園(中区)を訪れ、原爆犠牲者た

ちを追悼。被爆地にとって歴史的な瞬間となった。

この日朝までに広島入りした首脳たちは、車列で続々と平和記念公園に到着。岸田文雄首相たちの出迎えを受けた。原爆資料館を見学した後、原爆慰霊碑へ。米国のバイデン大統領、英国のスナク首相、フランスのマクロン大統領たち首脳が碑前に花を手向け、祈りをささげた。

G7首脳はほかにイタリアのメローニ首相、カナダのトルドー首相、ドイツのシュルツ首相と、EUのミシェル大統領、フオンデアライエン欧州委員長。会期は21日までの3日間で、初日はウクライナ情勢や核軍縮・不拡散を取り上げる。また、核保有国インドのモディ首相、韓国の尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領たち8カ国の首脳が20日から拡大大会合に加わり、21日に平和記念公園を訪れる。会期中、公園内へ関係者以外の市民たちは立ち入りできず、市内では交通規制も敷かれている。

広島でのサミット開催は初めて。ウクライナに侵攻したロシアが核兵器使用を示唆する中、被爆地で原爆の惨禍に触れた首脳たちが「核兵器のない世界」への意思や具体策を示せるかが焦点となっている。